



令和元年7月10日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

議会広聴広報特別委員会

委員長 及川修一

議会広聴広報特別委員会調査結果報告書

陸前高田市議会会議規則第110条の規定により、議会広聴広報特別委員会の調査結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 付託調査事件 市議会だよりの編集発行及び議会報告会の企画運営等、議会の広聴広報全般に係る諸調査について
- 2 調査概要 別冊「議会広聴広報特別委員会調査結果報告書」のとおり

議会広聴広報特別委員会
調査結果報告書

調査期間 平成29年9月～令和元年6月

(別紙)

議会広聴広報特別委員会調査結果報告

1 付託調査事件 市議会だよりの編集発行及び議会報告会の企画運営等、議会の
広聴広報全般に係る諸調査について

2 委員会構成 委員長 及川修一 副委員長 藤倉泰治
委員 伊藤勇一、三井俊介、畠山恵美子
中野貴徳、蒲生哲、丹野紀雄
伊勢純、鵜浦昌也、菅野定
佐々木一義、大坂俊、菅原悟
大坪涼子、福田利喜、菅野稔
(議長 伊藤明彦)

3 調査概要

(1) 調査活動の経過

ア 広聴小委員会

年月	調査内容等
平成29年 9月	平成29年第2回議会報告会の開催について、前期からの引き継ぎ事項について
10月	平成29年第2回議会報告会の開催について
11月	平成29年第2回議会報告会の個別意見等の取りまとめについて
平成30年 2月	平成29年第2回議会報告会開催結果に係る要望・提言等への回答の取り扱いについて、平成30年第1回議会報告会の開催について
6月	平成30年第1回議会報告会開催に伴う要望及び提言等の取りまとめについて
9月	平成30年第2回議会報告会の開催について
11月	平成30年第2回議会報告会開催に伴う要望及び提言等の取りまとめについて
平成31年 2月	平成30年第2回議会報告会開催結果に係る要望及び提言等への回答の取り扱いについて、平成31年第1回議会報告会の開催について
4月	平成31年第1回議会報告会の開催について
令和元年 6月	令和元年第1回議会報告会の開催に伴う市長への申し入れについて、令和元年第1回議会報告会における各議員の所感について、広聴小委員会付託事件調査報告書の取りまとめについて

イ 広報小委員会

年 月	調査内容等
平成 29 年 9 月	市議会だよりの議会広報クリニックへの応募について、広報小委員会設置及び所属委員数の変更について、正副小委員長の互選、当面の調査予定について、前広報小委員会からの申し送りについて、市議会だより第 102 号の発行について
10 月	市議会だより第 102 号の発行について、市議会だより第 102 号発行
11 月	市議会だより第 103 号の発行について
12 月	市議会だより第 103 号の発行について、議会広報クリニックの掲載結果について
平成 30 年 1 月	市議会だより第 103 号の発行について、市議会だより第 103 号発行、市議会だより第 103 号発行後の検証について
2～3 月	市議会だより第 104 号の発行について
4 月	市議会だより第 104 号の発行について、市議会だより第 104 号発行
6 月	市議会だより第 105 号の発行について
7 月	市議会だより第 105 号の発行について、市議会だより第 105 号発行
8 月	市議会だより第 105 号発行後の検証について
9 月	市議会だより第 106 号の発行について、陸前高田市議会だより編集要領の改正について
10 月	市議会だより第 106 号の発行について、市議会だより第 106 号発行
11 月	市議会だより第 107 号の発行について
12 月	市議会だより第 107 号の発行について、管外行政視察に係る質問事項について
平成 31 年 1 月	市議会だより第 107 号の発行について、市議会だより第 107 号発行
2 月	管外行政視察（宮城県利府町議会）、視察報告書について、市議会だより第 107 号発行後の検証について、陸前高田市議会だより編集要領の改正について、市議会だより第 108 号の発行について
3 月	市議会だより第 108 号の発行について
4 月	市議会だより第 108 号の発行について、市議会だより第 108 号発行
令和元年 5 月	市議会だより第 108 号発行後の検証について、広報小委員会調査結果報告書の取りまとめについて
6 月	広報小委員会調査結果報告書の取りまとめについて、市議会だより第 109 号の発行について
7 月	市議会だより第 109 号の発行について（予定）
8 月	市議会だより第 109 号発行（予定）

ウ ICT小委員会

年 月	調査内容等
平成 29 年 9 月	正副委員長互選・調査事項の確認
10 月	調査事項決定
11 月	タブレット端末の導入について所管事務調査実施
平成 30 年 2 月	タブレット端末の導入に先立ち、タブレット端末に関する要綱の制定について検討
3 月	「陸前高田市議会の情報通信機器使用に関するガイドライン（案）」を作成
4 月	「陸前高田市議会の情報通信機器使用に関するガイドライン（案）」を議会広聴広報特別委員会にて説明・原案可決
6 月	YouTube での議会中継における免責事項について検討
9 月	タブレット端末の導入について所管事務調査実施
10 月	全員協議会においてタブレット端末を配付、操作研修会を開催
11 月	タブレット端末の運用について所管事務調査実施
2 月	全議員対象にタブレット端末の運用に係るアンケート調査を実施

(2) 付託事件調査の概要

本委員会は、平成 27 年第 3 回定例会において議長を除く委員 17 名をもって設置され、委員長に及川修一委員、副委員長に藤倉泰治委員をそれぞれ互選するとともに、本委員会内に、議会報告会の開催及び企画運営等、議会の広聴に関する諸調査を行う広聴小委員会及び市議会だよりの編集発行等、議会の広報に関する諸調査を行う広報小委員会、並びに、ICT を活用した議会情報の発信等、議会の広聴広報に関する諸調査を行う ICT 小委員会を設置し、あわせて、正副委員長及び理事 6 名（各小委員会の正副小委員長の職にある委員）で構成する理事会を設置した。また、付託調査事件である「市議会だよりの編集発行、ICT を活用した議会情報の発信及び議会報告会の企画運営等、議会の広聴広報全般に係る諸調査について」を調査議題とし、任期中の継続調査事件として議長に対し、申し出を行った。

あわせて、平成 25 年第 3 回定例会において設置された議会広聴広報特別委員会調査結果報告を基に、議会報告会の開催手法の検討、市議会だよりの編集機能の強化や ICT を活用した議会の情報発信等の更なる充実強化を図るための取り組みに係る調査課題を継承するとともに、各小委員会において議会の広聴広報全

般に係る調査を実施した。

この間、本委員会においても、各小委員会からの報告を受け、付託事件調査を行った。議会報告会で市民から寄せられた提言等を市政に反映させるため、議長に報告した上で市長へ申し入れを行った。また、定例会及び臨時会における審議状況や一般質問の内容を市議会だよりに掲載するなど、わかりやすい情報の発信に努めるとともに、殊にも、ICT活用の分野においては、平成30年第4回定例会からタブレット端末を導入したことにより、円滑な議会運営と会議におけるペーパーレス化が図られ、あわせて、各種情報伝達の即時性も図られた。

(3) 主な調査内容及び調査結果

ア 広聴小委員会

陸前高田市議会基本条例に基づき、本委員会の主管により、平成29年11月（市営住宅団地10か所、参加者173人）、平成30年5月（市内11か所、参加者200人）、平成30年10月及び11月（特定4団体及び高田高校3年生、参加者122人）及び平成31年4月及び令和元年5月（市内11か所、参加者223人）の4回にわたり、特定テーマや地区別テーマを設けて、議会報告会を開催した。この報告会時に、住民からいただいた意見・提言等を委員会内で調査・研究し、市当局へ申し入れする項目、特別委員会及び常任委員会で調査する項目に分類・精査するとともに、その都度、委員長に対して報告をした。

イ 広報小委員会

市議会だより（第102号～第109号）の編集、校正作業（計30回）を行った。

市議会だよりの発行は、議員手づくりを基本として取り組み、概ね20ページで年4回、計7回発行し、区長文書として市内全戸へ配布、市外避難世帯へは被災者支援室等を通じて配布した。また、議会報告会開催結果、各委員会活動報告など、議会活動等について掲載した。

平成29年度には議会広報クリニックへ応募し、広報のレイアウト等についてアドバイスをいただいた。平成30年度には宮城県利府町議会の視察を行い、議会だよりのレイアウト及び編集、校正作業等について研修を行った。

前期からの引き継ぎ事項として、「市民にわかりやすく、読みやすい議会だよ

り」との申し送りであったが、表紙のカラー化や各議員のスペース増などについては改善を図った。

ウ ICT小委員会

議会中継については、災害FM終了に伴い、FM放送に代わる放送手段としてYouTubeを活用することとした。映像配信についても検討したが、現在の庁舎で映像機器を整備しても新庁舎では新たに整備が必要となることから、当面は音声のみの配信とすることとした。

ホームページについては、議会専用ホームページについて検討したが、議会で情報を掲載するとなると、個々の意見ではなく全体としての決定事項のみしか掲載できないことから、現状事務局で更新しているホームページで足りているという結論に至った。

タブレットの運用については、議会のペーパーレス化や、資料を持ち歩けることによる市民サービスの向上、事務局との連絡の迅速化、災害時の情報共有手段として平成30年10月よりタブレット端末を導入した。また、導入に際し「陸前高田市議会の情報通信機器使用に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）を制定し、情報通信機器運用のルールを定めた。

平成30年第4回定例会からは議案や予算書もタブレットで閲覧するようになり、以降の会議では基本的には紙の印刷物は配付していない。

(4) 今後の課題について

ア 広聴小委員会

議会報告会に参加された住民の皆様からいただいた意見等を基に、市当局に対して申し入れを行ったが、申入書の提出に留まらず、緊急性が高い項目が次年度の予算編成にどう反映されたかを含め、継続した調査を行う必要がある。

また、申し入れ項目を含め、特別委員会及び各常任委員会で調査するとした項目については、十分に調査研究し、政策提言につなげる必要がある。

あわせて、申し入れ項目に対する市当局からの回答の取り扱いについても、これまでは報告会を開催した各地区コミセンや各種団体に対して、写しを送付することで完結していたが、当該団体等と改めて回答についての報告の機会を要望する声もあることから、開催回数も含め、報告の手法についても検討が必要である。

この間、年2回の議会報告会を継続して開催したが、参加者にばらつきが見られ、会場によっては特定の参加者が多くの発言をする場面も見られることから、進行も含め、懇談方法については、今後さらなる検討が必要である。

本小委員会で議会報告会の配布資料等を調製しているが、ペーパーレス化推進の観点からタブレットを活用するなど、参加者に対する資料の見せ方に工夫が必要と思われ、そこを意識した資料作成を検討する必要がある。

いずれ、小委員会の適正規模化と構成人数を検討する必要がある。

イ 広報小委員会

表紙の写真について、これまでは「まちの復興」をテーマとして、上空からの写真を掲載してきたが、今後も事前にテーマを協議・決定し、できるだけ委員自ら撮影することが望ましい。

見出し及び記事は難しい言葉を避け、写真やグラフなどを適宜配置し、紙面全体のレイアウトを見直すなど、読みやすく、親しみやすい紙面づくりの検討が必要である。

課題追跡や市民及び市内団体から提出された請願について採択された案件などを取り上げた特集、市政課題を取材し、当局の取組状況を紹介する特集記事を検討することが望ましい。また、市民とのコミュニケーションを図れるような企画の検討が必要である。

先進地への視察と議会広報クリニックについては、先進地との意見交換、客観的意見による新しい視点の発見など、有意義と思われるので、引き続き継続することが望ましい。また、委員が記事の添削作業を行うことから、作文力を高めるような研修が必要である。

議会広聴広報特別委員会は現在3小委員会構成となっているが、機能の更なる強化を図るためには、より一層の連携が必要であり、各小委員会の役割を再確認した上で、更なる取組体制の充実強化が求められる。

ウ ICT小委員会

議会中継については、現在の庁舎のうち基本的には音声のみの配信としているが、新庁舎においては映像配信についても前向きに検討する必要がある。また、現状においてもインターネット配信についての周知等により、多くの市民に会議を視聴してもらえるような取り組みが必要である。

ホームページについては、現状の事務局が更新しているもので足りるとの結

論だったが、掲載内容で追加したい事項等があれば検討が必要である。

タブレットの運用については、まだ不慣れな議員もいることから、引き続き研修会の開催や議員相互で教えあうことにより、操作に慣れる必要がある。また、必要に応じてガイドラインの見直し等も行い、タブレットも含め情報通信機器の有効活用について検討する必要がある。

4 次期への申し送り事項

議会の広聴広報機能の連携強化を図るため、議会広聴広報特別委員会を設置するとともに、特別委員会内に理事会及び3つの小委員会を設置し、付託事件調査を行ってきたが、引き続き、広聴広報の連携強化を図り、より充実した情報発信に向けた取り組みが必要である。

また、議会報告会の開催手法の検討、市議会だよりの発行に係る研修及び編集技術の充実やICT関連の情報収集を欠かさず、必要なシステムを積極的に導入するなど、議会の情報発信に当たっては、上記の調査結果を踏まえてさらなる充実を図るとともに、取組体制の充実強化を求める。